

丸子中央病院  
MARUKO CENTRAL HOSPITAL

病院概要  
2020年度版



日本医療機能評価機構  
認定第 JC2026 号

# 丸子中央病院の理念

本院は、質の高い医療の提供を通じて、地域のしあわせ創りに貢献します。

## 丸子中央病院の方針

1. 患者さんの権利の尊重と療養環境の充実
2. 医療従事者の育成とチーム医療の推進
3. 健全な病院経営
4. 地域おこしへの貢献

## 丸子中央病院職員の倫理規定

1. 職員はすべての患者さんに対して常に平等に、温かく接しなければならない。
2. 職員は、患者さんに十分な情報を提供したうえで、患者さんの知る権利、自己決定の権利を尊重しなければならない。
3. 職員は守秘義務を厳守し、個人情報の保護に努めなければならない。
4. 職員は、自己研鑽に努め、医学の進歩と発展に貢献し、安全で信頼される医療の提供に努めなければならない。
5. 職員は、医療法人丸山会丸子中央病院職員としての自覚を持ち、お互いを尊重し、協力して病院の健全な運営に努めなければならない。

## 丸子中央病院患者さんの権利憲章

丸子中央病院は、患者さんの利益を守るためにこの権利憲章を制定します。

本院の職員は、この権利憲章を守り、患者さんの医療への主体的な参加を支援いたします。

1. 患者さんは、人としての尊厳を尊重される権利があります。
2. 患者さんは、平等な医療を受ける権利があります。
3. 患者さんは、納得できるまで説明を受ける権利があります。
4. 患者さんは、診療録の開示を求める権利があります。
5. 患者さんは、自ら受ける医療を選択し、あるいは拒否する権利があります。
6. 患者さんは、担当医以外の医師の考え方（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
7. 患者さんは、プライバシーを守られる権利があります。



**丸子中央病院**  
MARUKO CENTRAL HOSPITAL

### 丸子中央病院 シンボルマーク

丸子中央病院に携わるひとりひとりが地域の皆さまのニーズに柔軟にお応えしていく姿勢・情熱を、躍動感のある赤色の楕円をベースにしたデザインで表現しています。

地域の発展を医療・福祉から支え、地域と共に成長しつづける思いを楕円の中央上の円でシンボリックに表しています。

人と人が支え合うイメージを丸子中央病院のアルファベット頭文字の「M」に見立てています。



特定医療法人 丸山会

まる やま かずとし  
理事長 丸山 和敏



特定医療法人 丸山会  
丸子中央病院

かつ やま つとむ  
院長 勝山 努

## 地域と共に歩む病院を目指して

当院は丸山大司が昭和34年に小県郡丸子町上丸子（現上田市上丸子）に丸山医院を開業したことに端を発します。昭和40年に丸子中央病院となり、その後4期の増築工事を経て昭和60年には総合病院の認可を受け330床の「丸子中央総合病院」に名称変更しました。地域医療のニーズが地域住民の方々との相互理解の下に健康増進ならびに疾病的予防に取り組むこととどえ、最高水準の医療サービスの提供に全力で取り組んでまいりました。

丸山医院開業から60年が経過し、超高齢化など社会構造の大きな変化によって地域や医療の在り方が大きく変わりました。この社会の中で病院がどうあるべきか熟慮した結果、「地域と共に歩む病院」を目指すことが必要と考えました。そのためには設備等の刷新も必要と考え、平成21年より新病院の計画を立ち上げ、平成25年8月、上田市中丸子に新築移転しました。同時に病院の名称を「丸子中央病院」に戻し、開業当時の原点に立ち返り、地域に根ざした病院を目指し再スタートしました。

移転した新病院では電子カルテを導入、MRIやCTなどの医療機器を最新鋭の機器へ更新し、消化器病センター、透析センター、糖尿病センターを開設し、質の高い医療を提供できるようにしました。廊下と病室はゆとりあるスペースを確保し、大きな窓を配置した病棟の食堂からは浅間山・烏帽子岳を望めます。人間ドックは9階に配置し、ホテルのようなゆったりした空間を目指しました。ドック専用ラウンジではフランス料理の山田康司シェフによる料理を提供し、多くのドック受診者の皆様より好評を頂戴しております。ドックに併設しているレストランでは一般の方にも山田シェフのランチを提供しております。

## 地域のしあわせ創りを目指す病院

創立者の丸山大司先生は、旧丸子町に医院を開業されて以来、地域に寄り添う医院・病院としての在り方を大切にされておりました。

当院の理念には、「質の高い医療の提供を通じて地域のしあわせ創りに貢献する」とあります。前半の「質の高い医療の提供を通じて」の部分は多くの病院の「理念」に似たような文言がありますが、「地域のしあわせ創りに貢献する」を明示する例は稀ではないかと思います。ここに丸山大司先生から伝えられた本院職員の心意気が凝縮して表現されています。

この先生の遺志を継いでいる私たちは丸子中央病院の役割を次のように考えています。本院の役割は病気を正確に診断し適切な治療をするだけにとどまりません。職員が患者さんと一緒に悩み、患者さんが希望をもって病に向かえるように励まし、生き甲斐をもって日々過ごせるように励ますお手伝いをすることも本院の重要な役割です。

そのためには、患者さんの御家族のこと、あるいは患者さんが住まわれている地域のことまで関わさせていただく必要がある場合もあります。患者さんやご家族に少しでも癒されていると感じていただければありがたいと思っています。

私は、本院が新病院へ移転した平成25年(2013)に赴任させていただきました。実は50年前の昭和42年(1967)、インターンとしてお世話になったので、50年振りに懐かしい病院に帰ってきたとも言えます。その際、感じた本院の印象を要約すれば「ぬくも

設備などのハード面だけではなく安全性や医療の質を高めるため、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG:Ver.1.0の認定を受けました。また医療従事者を対象としたAHA(アメリカ心臓協会)公認「BLS/ACLSコース」を定期開催しており、当院職員の90%以上が受講しています。講習は当院だけでなく、他医療機関のスタッフの皆様にも受講いただいております。また、一般の方を対象とした心肺蘇生法の普及活動「PUSHプロジェクト」も実施し、地域の救命率向上に取り組んでいます。

「地域に開かれた病院」「病がなくても行きたい病院」を目指して、院内で各種イベントを開催しております。市民公開講座は地域住民の皆さんに医療情報を提供するだけでなく、医療以外のテーマの講演会や、音楽家の皆さんをお招きしてロビーコンサートを開催し、多くの方に参加していただいています。また地域のお祭り「まるこベルシティまつり」を協賛し、病院敷地内での様々なイベントや花火大会も開催しております。また株式会社ツルヤ様と共に山田康司シェフによる栄養のバランスを考えた、体に優しい美味しいレシピ「いきいきレシピ」をご家庭にお届けし、その活動は「健康寿命をのばそう!アワード<生活習慣病予防分野>」で厚生労働大臣賞・団体部門・優秀賞を受賞しました。

新しい時代、地域に即した医療・介護サービスは勿論、それ以外の分野でも地域のしあわせ創りに全力で取り組んでまいります。引き続きの御支援、御協力をお願い申し上げます。

り」でしょうか。この「ぬくもり」がどこから來るのか、それは丸山理事長を始め職員の多くが旧丸子町やその近隣市町村に生まれ、育ち、そして当院で働いており、患者さんとの間により強いきずなが存在することが理由の一つかと思われます。

病院はどんな病院であれ、地域を基盤として生まれ、地域が育て、地域がサポートしてこそ機能します。その意味では地域の共有財産です。ただ、病院が大型化し、高い機能を追求すればするほど、地域との絆が薄れ、地域の皆さんからするとよそよそしい存在へと変わっていく傾向にあることは否めません。当院の場合は「地域おこしへの貢献」が経営方針に加わっており、市民公開講座、コンサート、夏には、地元の自治会、商工会などと協力し、「まるこベルシティまつり」も開催しています。地域のコミュニティを担う場として地域に寄り添い続けていく姿勢を大切にしたいと思っています。

当院はこれからも、「患者を見る」こと、「人を見る」ことを最も大切にする病院であり続けます。もちろん、「病気を治す」能力についても磨きをかけていきますが、「人を見る」ことを忘れないように、信頼される病院であり続けられるように、職員一丸となって努力して参ります。引き続きご支援を賜りますよう、お願ひ申し上げます。





## 丸子中央病院の道のり

- 昭和 34 年 丸山大司、小県郡丸子町に丸山医院開業
- 昭和 40 年 「医療法人丸山会 丸子中央病院」に新築移転  
61 床、5 つの診療科を設置（第 1 期新築工事）
- 昭和 41 年 救急指定病院の認定を受ける
- 昭和 42 年 85 床に増床（第 2 期新築工事）
- 昭和 44 年 151 床に増床（第 3 期新築工事）
- 昭和 46 年 人工透析を開始
- 昭和 47 年 更生医療機関に指定  
特定医療法人に認定
- 昭和 53 年 病床数 267 床へ増床（第 4 期新築工事）
- 昭和 60 年 総合病院の認可を受け「丸子中央総合病院」となる
- 昭和 61 年 330 床に増床  
上田透析クリニック開設
- 平成 8 年 「そよ風訪問看護ステーション」開設
- 平成 10 年 丸山和敏、第二代病院長に就任
- 平成 15 年 丸山大司理事長が丸山会 会長に就任  
丸山和敏が理事長・院長を併任
- 平成 25 年 勝山努、第三代病院長就任  
旧カネボウ丸子工場跡地へ新築移転 297 床  
「丸子中央病院」に改称
- 平成 27 年 公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG : Ver.1.0 認定取得  
財団法人日本病院会日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定取得
- 平成 28 年 地域包括ケア病棟開設  
介護療養型医療施設に愛称「ケアあおぞら」と命名
- 平成 29 年 企業主導型保育園「あったかステーション わくわく」開設  
長野県発達障がい診療地域連携病院として始動
- 平成 30 年 DPC 対象病院として包括請求業務を開始  
丸子中央病院介護医療院「ケアあおぞら」を開設（許可病床数 200 床）
- 平成 31 年 「病児保育センター」・「医療と介護の相談ステーション」開設

名 称 特定医療法人丸山会 丸子中央病院  
開 設 者 理事長 丸山和敏  
所 在 地 〒386-0405  
長野県上田市中丸子 1771-1  
電 話 0268-42-1111 (代表)  
F A X 0268-42-1112 (代表)  
敷地面積 27,561 m<sup>2</sup>  
建築延面積 20,297 m<sup>2</sup>  
建 物 地上 9 階建 耐火鉄骨造り

(2020年4月1日現在)



# 急性期から在宅までの継続的な医療・介護の提供

法人内で連携を持ち、患者さん・利用者さん1人1人を継続的に支援しています。

## 丸子中央病院



### 一般病棟(99床)

急な病気になった場合、手術をする場合などにまず入院するのが一般病棟です。病状が最も重い時期、あるいは不安定な時期の治療を行う病棟です。

### 地域包括ケア病棟(50床)

病状が回復に向かっても、状況が入院前と異なる場合は、家に帰る準備が必要です。リハビリテーションを行ったり、社会資源の活用等の調整を行い、安心して退院後の生活に移れるよう支援します。

### 医療療養病棟(50床)

病状が安定しても、長期間にわたる医療処置が必要な方が入院する病棟です。処置などをしながら退院して自宅で過ごすことを目指します。



### 介護医療院

#### 「ケアあおぞら」(定員:97名)

病状が安定したものの家の生活が難しく、長期療養が必要な方にご利用いただく施設です。生活の場としての機能を持ちあわせており、居住性に配慮した施設で状態に応じて自立した日常生活を支援いたします。



### そよ風訪問看護ステーション

医師・看護師・リハビリテーションスタッフがチームとなり、病院退院後の在宅療養に必要な看護や介護のお手伝いをいたします。



### ひまわり会

平成25年、新築移転を機に結成されたのが院内ボランティア「ひまわり会」です。昭和34年の丸山医院開院当初から、看護師などの専門職として働いた経験のある60代~80代のメンバーが所属し、丸山会と共にこの町で歩み続けてきました。外来で患者さんに歩み寄る姿は、新病院でも欠かせない光景になっています。

## 丸山会関連施設

### 介護老人保健施設

#### 長野県 上田市

- |        |                            |                 |
|--------|----------------------------|-----------------|
| ■御所苑   | 〒386-0033 長野県上田市御所 666     | 電話 0268-22-2222 |
| ■ケアまるこ | 〒386-0404 長野県上田市上丸子 331-13 | 電話 0268-42-1110 |

#### 埼玉県

- |           |                                |                 |
|-----------|--------------------------------|-----------------|
| ■ケア大宮 花の丘 | 〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷 975-5 | 電話 048-620-2400 |
|-----------|--------------------------------|-----------------|

#### 東京都

- |         |                              |                 |
|---------|------------------------------|-----------------|
| ■ケア新小岩  | 〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩 2-1-12  | 電話 03-5671-6003 |
| ■ケア東久留米 | 〒203-0052 東京都東久留米市幸町 3-11-10 | 電話 042-479-2600 |

### 診療所

#### ■上田透析クリニック (血液透析モニター48台)

〒386-0033 長野県上田市御所 674 電話 0268-27-3006

# 丸子中央病院概要

## 2019年度 病床利用率・平均在院日数

|          | 許可病床数 | 稼働病床数 | 病床利用率(%) | 平均在院日数(日) |
|----------|-------|-------|----------|-----------|
| 一般病床     | 99    | 99    | 92.3     | 15        |
| 地域包括ケア病棟 | 50    | 50    | 94.3     |           |
| 医療療養病床   | 50    | 50    | 90.1     |           |

介護医療院 定員 97名

## 2019年度実績

|        |                        |        |                      |
|--------|------------------------|--------|----------------------|
| 新入院患者数 | 2,815名                 | 救急患者数  | 7,549名 (うち入院 1,179名) |
| 延入院患者数 | 67,407名 (1日平均 184.2名)  | 救急車搬送数 | 1,309名               |
| 延外来患者数 | 116,882名 (1日平均 319.3名) | 紹介患者数  | 5,032名               |
| 初診患者数  | 11,565名                | 紹介率    | 34.0%                |
|        |                        | 逆紹介数   | 4,731名               |
|        |                        | 逆紹介率   | 49.2%                |

職員数 558.8名 (常勤 470名、非常勤 88.8名 (常勤換算)) (2020年5月現在)

|         | 職種総数  | 常勤職員数 | 非常勤<br>(常勤換算) |
|---------|-------|-------|---------------|
| 医師      | 28.8  | 23    | 5.8           |
| 歯科医師    | 2     | 2     | 0             |
| 看護要員 合計 | 222.3 | 174   | 48.3          |
| 保健師     | 7.5   | 7     | 0.5           |
| 看護師     | 131.7 | 101   | 30.7          |
| 准看護師    | 75.3  | 62    | 13.3          |
| 看護補助者   | 7.8   | 4     | 3.8           |
| 薬剤師     | 13.3  | 12    | 1.3           |
| 臨床検査技師  | 16.1  | 9     | 7.1           |
| 診療放射線技師 | 11    | 11    | 0             |
| 管理栄養士   | 5.5   | 5     | 0.5           |

|             | 職種総数  | 常勤職員数 | 非常勤<br>(常勤換算) |
|-------------|-------|-------|---------------|
| リハビリ部門 合計   | 45.3  | 44    | 1.3           |
| 理学療法士       | 28.2  | 27    | 1.2           |
| 作業療法士       | 12    | 12    | 0             |
| 言語聴覚士       | 5.1   | 5     | 0.1           |
| 診療情報管理士     | 3     | 3     | 0             |
| 臨床工学技士      | 14    | 14    | 0             |
| 医療ソーシャルワーカー | 6     | 6     | 0             |
| 介護支援専門員     | 6     | 6     | 0             |
| 介護福祉士・介護職員  | 81.2  | 75    | 6.2           |
| 事務部門        | 72.9  | 64    | 8.9           |
| その他職種       | 31.4  | 22    | 9.4           |
| 職員総数        | 558.8 | 470   | 88.8          |

医療安全推進者 19名 (専任・兼任)

感染管理担当者 5名 (専任・兼任)

## 標準診療科 (2020年5月1日現在)

| 内 科        | 呼吸器内科 | 循環器内科      | 消化器内科 |
|------------|-------|------------|-------|
| 糖尿病内科      | 腎臓内科  | 腎臓内科（人工透析） | 神経内科  |
| 心療内科       | 外 科   | 心臓血管外科     | 整形外科  |
| 脳神経外科      | 形成外科  | 精 神 科      | 小 児 科 |
| 泌尿器科       | 眼 科   | 耳鼻いんこう科    | 放射線科  |
| 救 急 科      | 歯 科   | 歯科口腔外科     | 麻 醉 科 |
| リハビリテーション科 |       |            |       |

## 施設基準・承認事項 (2020年5月1日現在)

### 基本診療料

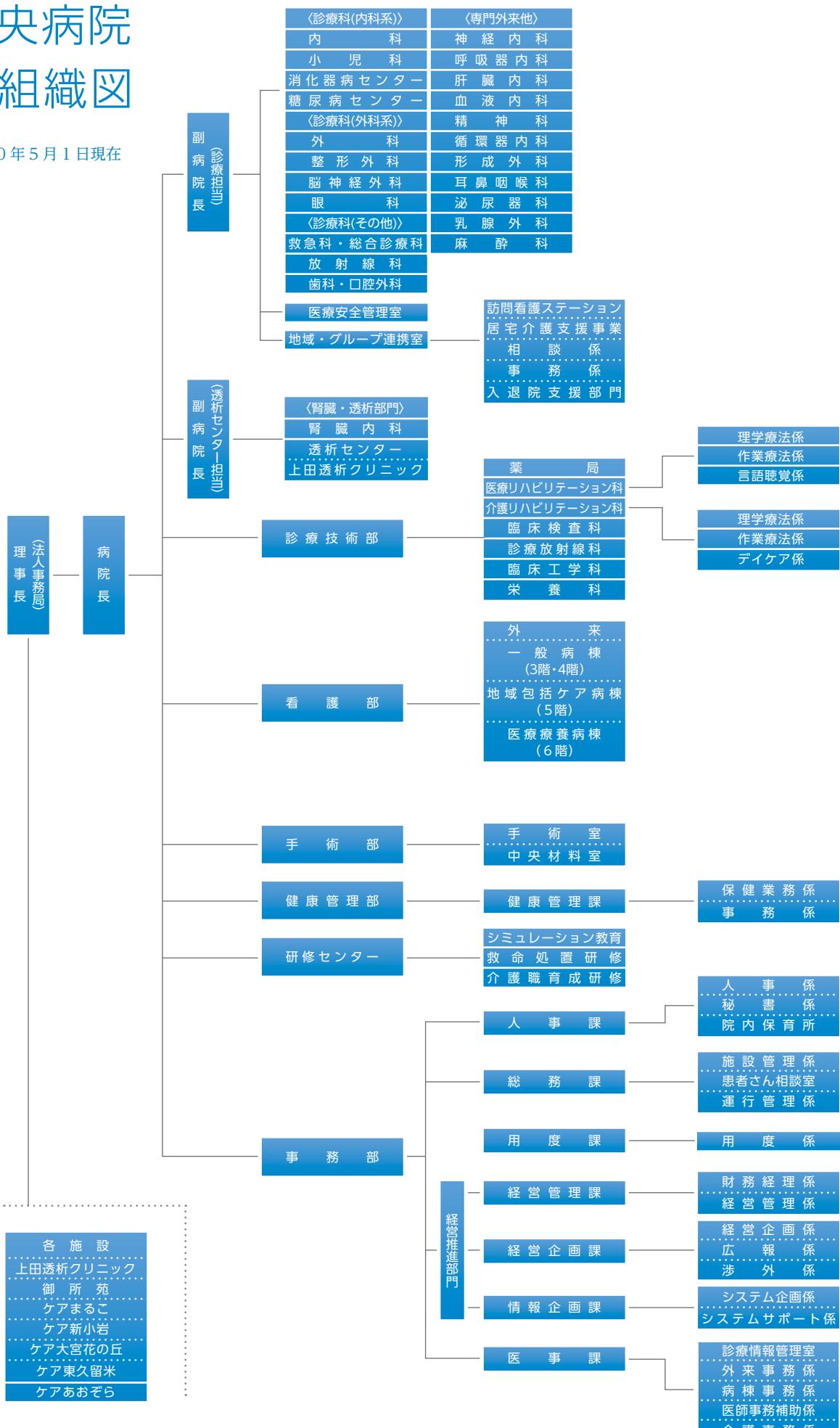
- 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準
- 歯科外来診療環境体制加算1
- 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料1
- 療養病棟入院基本料1
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算1
- 超急性期脳卒中加算
- 医師事務作業補助体制加算1 20 対1
- 急性期看護補助体制加算 25 対1
- 夜間 50 対1 急性期看護補助体制加算
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 療養病棟療養環境加算1
- 医療安全対策加算2
- 感染防止対策加算1
- 患者サポート体制充実加算
- 後発医薬品使用体制加算1
- 病棟薬剤業務実施加算1
- データ提出加算2
- データ提出加算4
- 入退院支援加算1
- 認知症ケア加算2
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算
- 地域包括ケア病棟入院料1

### 特掲診療料

- 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算・歯科治療時医療管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 小児科外来診療料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1
- がん治療連携指導料
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料1
- 検体検査管理加算（I）
- 検体検査管理加算（II）
- 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- 神経学的検査
- コンタクトレンズ検査料1
- 画像診断管理加算1
- 画像診断管理加算2
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 心臓MRI撮影加算
- 小児鎮静下MRI撮影加算
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
- 運動器リハビリテーション料（I）
- 呼吸器リハビリテーション料（I）
- 歯科口腔リハビリテーション料2
- 口腔粘膜処置
- レーザー機器加算
- エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
- エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）
- 人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1
- 導入期加算1
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- CAD/CAM冠
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
- 輸血管理料II
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料（I）
- クラウン・ブリッジ維持管理料

# 丸子中央病院 組織図

部署別 2020年5月1日現在



# 役職員

2020年5月1日現在

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 丸山会理事長    | 丸山 和敏 (まるやま かずとし) |
| 常務理事      | 長崎 信之 (ながさき のぶゆき) |
| 法人事務局長    | 田中 克典 (たなか かつのり)  |
| 丸子中央病院病院長 | 勝山 努 (かつやま つとむ)   |
| 副病院長      | 松澤 賢治 (まつざわ けんじ)  |
| 透析担当副病院長  | 都筑 重利 (つづき しげとし)  |
| 特別顧問      | 岡元 和文 (おかもと かずふみ) |
| 顧問        | 松本 あつ子 (まつもと あつこ) |

## 診療部

|               |  |
|---------------|--|
| 医局長           | 平野 賢 (ひらの けん)  |
| 内科系診療部長       | 杉尾 芳紀 (すぎお よしのり)   |
| 外科系診療部長       | 松澤 賢治 (まつざわ けんじ)   |
| 内科部長          | 橋倉 泰彦 (はしくら やすひこ)<br>加藤 裕子 (かとう ゆうこ)<br>渡邊 光久 (わたなべ みつひさ)<br>小山 潤 (こやま じゅん)<br>中島 恒夫 (なかじま つねお)<br>沖山 葉子 (おきやま ようこ)<br>石川 守 (いしかわ まもる)<br>樋口 雅隆 (ひぐち まさたか) |
| 小児科部長         | 加納 洋 (かのう ひろし)   |
| 循環器内科部長       | 平野 賢 (ひらの けん)  |
| 外科部長          | 杉尾 芳紀 (すぎお よしのり)<br>住友 博輝 (すみとも ひろき)   |
| 救急科・総合診療科部長   | 岡元 和文 (おかもと かずふみ)  |
| 麻酔科 (兼務) 部長   | 岡元 和文 (おかもと かずふみ)  |
| 消化器病センターセンター長 | 松澤 賢治 (まつざわ けんじ)   |
| 糖尿病センターセンター長  | 大房 裕和 (おおふさ ひろかず)  |
| 整形外科部長        | 菅原 崇博 (すがわら たかひろ)<br>志賀 研人 (しが けんと)  |
| 眼科部長          | 野原 雅彦 (のはら まさひこ)   |
| 脳神経外科部長       | 塚田 利幸 (つかだ としゆき)   |
| 放射線科部長        | 星野 博信 (ほしの ひろのぶ)   |
| 歯科部長          | 山田 哲男 (やまだ てつお)<br>輿水 大比古 (こしみず ひろひこ)  |
| 手術部部長         | 岡元 和文 (おかもと かずふみ)  |
| 透析センターセンター長   | 都筑 重利 (つづき しげとし)   |

## 各部門

|             |                   |
|-------------|-------------------|
| 地域・グループ連携室長 | 高末 真知子 (たかすえ まちこ) |
| 看護部長        | 嶋田 廣子 (しまだ ひろこ)   |
| 医療安全管理室長    | 小山 潤 (こやま じゅん)    |
| 健康管理部長      | 橋倉 泰彦 (はしくら やすひこ) |
| 研修センター長     | 橋倉 泰彦 (はしくら やすひこ) |
| 診療技術部長      | 春原 勝芳 (すのはら かつよし) |
| 事務部長        | 田中 克典 (たなか かつのり)  |
| 事務部次長       | 池内 淳子 (いけうち じゅんこ) |



# つながる地域とのきずな ぬくもりある医療の提供

働く職員の多くがこの丸子地域で育ち、幼いころから当院を受診し、地域と共に歩んできました。病院にお越しいただく患者さんの中にも、職員の家族やご近所さんが多く、会話の中には慣れ親しんだぬくもりが感じとれます。今日も病院の中では、地域のみなさんによる写真・作品展示や、コンサートなどが行われています。私たちの役割は、患者さんはもちろん、その先にあるご家族、そして地域住民にとっても“しあわせ”を感じられる環境を提供することです。医療・介護を通じ「この病院でしかできないこと」を探しています。そのために、住民参加の地域医療づくり、そして何より患者さんの意思を尊重できる人材育成を大切に考えています。

## 院内施設紹介

9F 人間ドック



### 人間ドック

健康的な生活を送っていただきためにお一人、お一人に合わせた丁寧な説明を心がけています。健診後は、空港のゆったりしたラウンジをイメージした、9階ドック専用ラウンジでフランス料理の山田シェフによるお食事を提供します。

8F 介護医療院 ケアあおぞら

7F 介護医療院 ケアあおぞら

6F 医療療養病棟

5F 地域包括ケア病棟

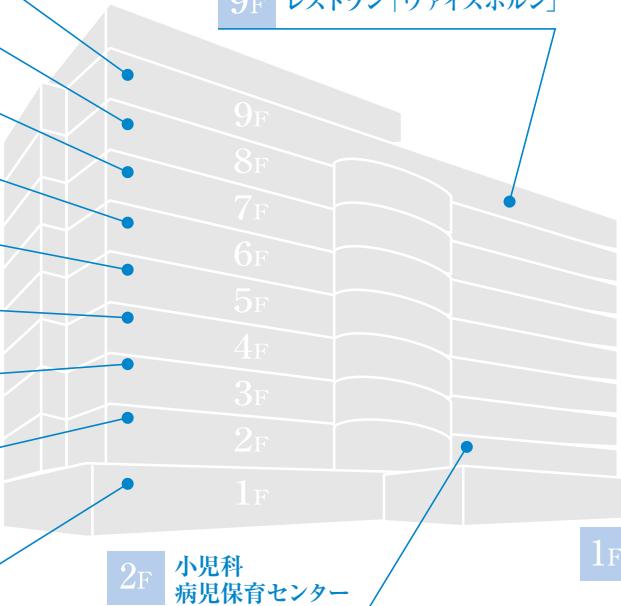
4F 一般病棟（外科系）、手術室

3F 一般病棟（内科系）、透析センター

2F リハビリテーション科、デイケア  
発達外来

1F 医療と介護の総合相談ステーション  
外来、消化器病センター、  
臨床検査科、放射線科、  
ER、薬剤部、栄養科、医事課、売店

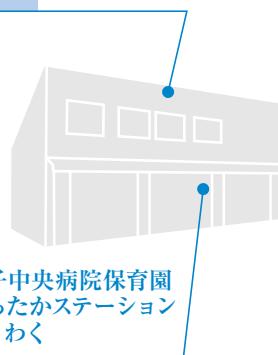
9F レストラン「ヴァイスホルン」



### 医療と介護の 総合相談ステーション

「地域医療連携室」「入退院支援室」「医療福祉相談室」「訪問看護ステーション」「訪問リハビリテーション」「居宅介護支援センター」を1か所に集約し、地域住民の方々や患者さん、利用者さん、ご家族等からの医療・介護に関するご相談を一括的にお受けしています。

2F 研修センター



丸子中央病院保育園  
あったかステーション  
わくわく

### 透析センター



患者さんに安心・快適な環境で治療を受けて頂けるよう、最新の患者監視装置を備え、一人一人のスペースも充実しています。外来での臨時透析や緊急透析にも対応し、関連施設の上田透析クリニックはもちろん、地域の透析医療機関とも連携しています。

### 消化器病センター

特殊光観察(NBI)可能な光源システムを導入し、電子内視鏡スコープを用いた上部消化管内視鏡、大腸内視鏡による観察・精査(拡大内視鏡、超音波内視鏡)が可能です。また内視鏡を用いた治療(EMR、ESD、ERCPなど)を行っており、必要に応じてカプセル内視鏡を用いた小腸検査も実施しています。

### あったかステーションわくわく



内閣府の企業主導型保育事業の制度を利用した保育園です。職員や、地域のみなさんがご利用いただけます。地域で安心してお父さん、お母さんが働き続けられるように、仕事と子育ての両立を支援します。



## シミュレーション教育を中心とした研修体制～地域を支える人になる～

当院は「研修センター」を設置するとともに、研修に必要な各種シミュレーターを備えています。

これは、「知っている」と「できる」との間に存在するギャップを埋める教育手法として近年注目されているシミュレーション教育の場を院内外に提供し、地域の医療水準向上をはかるためです。

看護学生、新人看護師だけでなく、再就職者やベテラン職員、医師までがシミュレーション研修に参加し、ともに学びながら「実践力の習得」と「良好なコミュニケーションによるチーム医療」に向けて励んでいます。また導入しているオンラインテキストにより「世界標準」を目指している点は当院の特長と考えています。さらに2014年度からは、新たに介護福祉士向けに介護研修プログラムを開発し、教育機関の支援を受け研修を開始しました。理学療法士、薬剤師などの各職種に対しても「急変対応研修」を実施しています。

これらのシミュレーション研修を「成人教育理論」に基づいて行うために、指導者は米国の指導者研修会を修了しています。



## AHA-BLS・ACLSコース～地域の救命率を上げるために～

市民によって心肺停止が目撃された傷病者の1ヶ月後社会復帰率は、長野県では6.7%と全国平均7.4%より低い水準となっています（総務省消防庁 平成29年版 救急救助の現況より）。地域の救命率・社会復帰率を上げるためには、医療従事者と共に地域住民への心肺蘇生法の普及・技術向上が欠かせません。

当院では、平成24年よりAHA（アメリカ心臓協会）の公認インストラクター9名を養成し、AHAの最新ガイドラインに沿ったBLS(一次救命処置)・ACLS(二次救命処置)コースを上田市内で唯一、定期的に開催しており、近隣医療機関の医療従事者にもコースを開放しています。なお、当院職員は事務職員を含めた全員がBLSコースを受講しており、国内トップクラスの安心できる病院を目指しています。

## PUSHコース

丸子中央病院は、大阪ライフサポート協会と日本心臓財団がすすめる「PUSHプロジェクト」に参加しております、現在12名のPUSH認定インストラクターが活動しています。地域の皆さんには、胸骨圧迫だけの誰でもできる心肺蘇生の体験会を開催し、突然死を防いで地域の救命率を上げる活動を地元の中学校、警察署、一般企業などで開催しています。



## 糖尿病センター・糖尿病療養チーム活動～患者さんの心に寄り添う～

丸子中央病院では、糖尿病療養に携わるチーム・委員会が発足しており、専門医2名を含む4名の医師、日本糖尿病療養指導士9名、地域糖尿病療養指導士6名、糖尿病看護認定看護師1名、各病棟・コメディカルスタッフ等より結成され多職種で連携を図り関わらせていただいているます。

また、平成4年に発足した糖尿病友の会「やまぶき会」の活動も支援しています。

糖尿病はご存じの方もいらっしゃるとは思いますが、急性期・慢性期の合併症に注意しなければならない病気の一つです。そのため、教育入院の患者さんや外来通院患者さんを対象に年間を通して学習会を行ったり、糖尿病をお持ちでない方にも糖尿病という病気を知っていただくために啓発運動として糖尿病デーのイベントを行ったりしています。また、「まるこベルシティまつり」でも気軽に体験出来るイベントを行う予定です。

糖尿病患者さんは治療を行いながら生活していく上で、様々な課題と向き合って生活されていますが、その課題と向き合いながらも病気だけにとらわれず、自分らしく生活ができる様に「もっと健康！ずっと元気！楽しい糖尿病ライフを送るために」というスローガンをモットーにスタッフ一同協力し、今後も支援させていただきますので宜しくお願いします。



世界糖尿病デー  
プロジェクトマッピング





#### 駅よりバスをご利用の方

- 北陸新幹線・しなの鉄道線 上田駅お城口バス停、  
またはしなの鉄道線 大屋駅バス停より  
千曲バス 鹿教湯線（丸子、鹿教湯方面行き）乗車  
またはJRバス関東 長久保線（長久保行き）乗車
- \*当院正面入口に「中央病院前」バス停があります。  
※朝、夜1便ずつ、「中央病院前」に停車しないバスもございますのでご注意ください。

#### お車をご利用の方

- しなの鉄道 大屋駅から5km (車で約10分)
- 上田菅平ICから浅間サンライン、大屋駅前を通り13km (車で約25分)
- 東部湯の丸ICから県道81号線丸子東部インター線を通り11km (車で約25分)

特定医療法人丸山会



〒386-0405 長野県上田市中丸子1771-1

電話 0268-42-1111(代表) FAX 0268-42-1112



<https://maruko-hp.jp>



<https://www.facebook.com/maruyamakaifb/>